銀行をこえる銀行へ 紀陽銀行

News Release

２０２６年１０月３０日

各　位

株式会社 紀陽銀行

株式会社大共向け
「紀陽ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の実行について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、株式会社大共（代表取締役社長：岡﨑 正彦、以下、同社）に対し、「紀陽ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、本商品）」を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本商品は、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼすポジティブならびにネガティブな影響を分析・評価し、プラスの影響（ポジティブ・インパクト）の拡大とマイナスの影響（ネガティブ・インパクト）の抑制に向けた取り組みを支援する商品です。同社は、ポジティブ・インパクトを拡大するテーマおよびネガティブ・インパクトを抑制するテーマを特定し、それぞれ目標とＫＰＩを設定しました。当行は、定期的にお客さまが設定したＫＰＩの達成状況を確認し、サステナビリティ経営の高度化に向け支援します。

紀陽銀行は、今後も地域の事業者の皆さまのＳＤＧｓ達成に向けた取り組みを支援することで、地域経済の持続的な成長に貢献してまいります。

記

１．本件概要

借入人	会社名	株式会社大共
	所在地	大阪府東大阪市高井田本通５丁目２番１７号
	代表者	岡﨑 正彦
	設立	１９６５年７月
	事業内容	合成樹脂フィルム等の粘着加工関連販売業
実行日		２０２６年１０月３０日
融資金額		２００百万円
期間		５年

２．同社が事業を通じて特定したインパクト

ポジティブ・インパクトの拡大	・多業種に活用できる独自技術の展開および環境負荷低減素材の活用による事業拡大 ・従業員の育成、賃金の拡大促進
ネガティブ・インパクトの抑制	・多業種に活用できる独自技術の展開および環境負荷低減素材の活用による事業拡大 ・従業員の健康に配慮した経営推進

・本件は、国連環境計画金融イニシアティブ（ＵＮＥＰ ＦＩ）が制定する「ポジティブインパクト金融原則（ＰＩＦ原則）」への適合性について、株式会社格付投資情報センター（Ｒ＆Ｉ）よりセカンドオピニオンを取得しております。

以　上

本取り組みは、ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）のゴール３「すべての人に健康と福祉を」、ゴール８「働きがいも経済成長も」、ゴール９「産業と技術革新の基盤をつくろう」、ゴール１２「つくる責任つかう責任」、ゴール１７「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

